

## 端野の寺院と教会・神社(その2)

### 緋牛内説教所

端野は、他の町村に比して、お寺が少ない町ですが、無量寿寺のほかに、真宗興正派緋牛内説教所がありました。

昭和四(一九二九)年八月、当時、野付牛町(現北見市)の真宗興正派説教所(現 北見市の弘正寺)の住職木村了淳師が、緋牛内駅前(幸崎伊八氏宅)に説教所を開設し、毎月、日を定め法輪を解かれ布教活動を始められました。

熱心な布教活動により、帰依する方が増え、そのため昭和六(一九三一)年一〇月、發起人の瀬尾仁平、後野木由太郎両氏の外、信徒総代齊藤正雄氏の協力を得て本堂を建設し住職となりました。昭和九(一九三四)年七月、説教所としての認可を得て布教に努めてきましたが、昭和一七(一九四二)年四月、生涯を閉じられました。

戦後の昭和二一(一九四六)年一月、僧籍のある岡田英孝氏との縁があり二代目の住職に赴任し、布教活動を継続しました。

しかし、岡田氏は、昭和二四(一九四五)年から端野小学校の教諭として教鞭をとることになったため、布教活動がおろそかになり、昭和四一(一九

九六六)年に閉院となりました。

なお、昭和九年、説教所として認可を受けた際に建立した記念碑は、閉院による寺院の解体時に、土中に埋もれていたのが発見されました。昭和五七(一九七九)年、亀井繁秋氏(当時緋牛内総代)ほか有志により、緋牛内小学校校門左側に再建されました。

### 教会

#### 天理教北野桜分教会

北野桜分教会は、天理教桜井大協会に所属し、昭和一一(一九三六)年四月、端野村下仁頃一区、現 豊実)半沢忠五郎氏が自宅に布教所を開設したのが始まりです。

昭和二六(一九五二)年一〇月、神殿、礼拝所を新築し、同年一二月二六日教会の承認を得て、分教会として正式に発足し、初代会長に半沢忠五郎氏が就任しました。

また、昭和二九(一九五四)年一月二〇日「宗教法入法」により、北海道知事の認証を受けました。

半沢忠五郎氏は、明治四〇(一九〇七)年、キトタウンシナイ原野(現 豊実)に入植し、豊実地区の草分けの一人ですが、同地で雑貨商を営む傍ら、農業に従事し、昭和四一(一九六六)年に会長を退任し、二代目会長に半沢彰氏が就任、平成八(一九九六)年九月から三代目会長に半沢テツ子氏、平成十一(一九九九)年一月二六日から四代目会長に半沢俊治氏が就任し、現在に至っています。

ます。なお、昭和六三(一九八八)年一〇月、教会神殿、礼拝場、教職舎などを新築しました。

年祭日は、月次祭(毎月一日)、春大祭(一月一日)、誕生祭(四月一日)、秋大祭(一〇月一日)等が執り行われています。

#### 天理教北常呂分教会

昭和三六(一九六一)年五月、中平タミ氏が端野町三区に中平布教所を開設したのが分教会の発祥です。

北常呂分教会は、天理群山大教会に所属し、昭和四〇(一九六五)年一月、教会の承認を得て分教会として正式に発足し、初代会長に中平道明氏が就任しました。

昭和四八(一九七三)年二月二六日「宗教法入法」による北海道知事の認証を受けました。

平成元(一九八九)年三月、中平範子氏が二代目会長に就任、平成二一(二〇〇九)年に中平祥司氏が三代目会長に就任し、現在に至っています。年祭日は、月次祭(毎月一〇日)、春大祭(一月一〇日)、誕生祭(四月五日)、秋大祭(一〇月一〇日)等が執り行われています。

### 端野にゆかりのあるお寺

端野の人たちは、無量寿寺のほかにゆかりの深いお寺が周辺の市町にいくつもあります。そのうち、開拓始め(明治時代)の頃から、ご縁の深い北見市内のお寺とその沿革の概要を記します。

## ○光明山

### 本覚寺(浄土真宗本願寺派)

屯田兵は入地した明治三〇(一八九七)年、浄土真宗の樺島環師が説教所を野付牛に開設しましたが、亡くなられましたので、翌三二(一八九九)年、屯田兵の菩提寺として屯田兵布教のために浄土真宗本願寺派桜田正見師が着任され、寺院として昇格したのが、現在の本覚寺です。

明治三四(一九〇一)年、陸軍元帥陸奥保が野付牛を訪れた際に「光明山」という山号を命名、同三五(一九〇二)年本覚寺として寺号を公称しました。

師が布教をしていましたが、本堂が焼失したため帰郷してしまいました。その後、信徒たちが本願寺に布教師を求め、明治四一(一九〇八)年、小川多聞師が住職として派遣されました。

大正元(一九一二)年現在地に寺院が落成し、翌二(一九一三)年、寺号公称が許可されました。

## ○覚皇山 白麟寺(曹洞宗)

明治三〇(一八九七)年、屯田兵の家族である鏡仙丈氏が屯田墓地の一角に草庵を結ばれたことに始まり、明治三四(一九〇一)年に説教所が開設され、明治四一(一九〇八)年、寺号公称が許可されました。

## ○護国山 高臺寺(曹洞宗)

明治三〇(一八九七)年、臨済宗の橘五堂師が市街地に説教所を開設しましたが、間もなく立ち去りましたので、禅宗派信徒の屯田兵たちの熱望に応え、京都蟠根寺住職佐伯種貞氏が明治三四(一九〇一)年、その後説教所を開設しました。

明治四〇(一九〇七)年、真宗興正派による入植で、留辺蘂町に華国農場、上仁頃に本願寺農場を開設しました。

## ○日照山 乗光寺(真宗大谷派)

明治二九(一八九六)年、東本願寺は端野説教所のほかに、東相内にも本堂を建設し、中野寛成

同年、上仁頃の草庵が設けられ、明治四四(一九一一年)、草薙秀善師が本山の命により入地、大正五(一九一六)年、寺院を建立、大正六(一九一七)年、寺号公称が許可されました。戦後農地改革により境内が縮小され、昭和二五(一九五〇)年に現在地に移転しました。

## ○福田山 明照寺(浄土宗)

明治三一(一八九八)年、屯田歩兵第四大隊第二中隊(野付牛)に入地した屯田兵高橋岩吉氏の妹信静尼が、明治四一(一九〇八)年、現在地に浄土宗の説教所を建て「尼寺の庵主さん」と言われ布教を始めました。

明治四四(一九一一年)、加藤圭全師がこれを継ぎ、浄土宗野付牛説教所としました。

大正二(一九一三)年、本堂を建立し、大正五(一九一六)年、明照寺と寺号公称が認可されました。

## ○定林山 聖徳寺(真宗大谷派)

明治四四(一九一一年)、無量寿寺が出張講座をするため、住職の妻ミヨさんが設けた説教所が始めで、大正八(一九一九)年に継いだ三林遵護師は、野付牛駅付近にあった「聖徳太子頌徳碑」を移して、一緒に守ることとなり、この碑にちなみ聖徳寺と寺号公称しました。

なお、この他のお寺及び教会等は紙面の関係で省略させていただきます。

### ※参考文献

新端野町史

(平成十年十月十日発行、端野町)

新北見市史

(令和元年九月二十日発行、北見市)